「第3期 益城町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要

【益城町の資源】
公共施設　利便と自然の調和　各種支援制度
新しいまち・活動　国際交流　人のつながり

評価
活用

総合計画

益城町総合計画（2022年～2026年）
「住みたい町、住み続けたい町、
次世代に継承したい町」

実現

多世代交流の促進
コミュニティの活性化
教育・保育の質の向上
町内消費の拡大
安全の向上（防犯・防災）

若い子育て世代の移住が進むことで
町全体にも影響が波及

総合戦略

子育て世代・こどもが
「住みたい・住み続けたい」と思うまち

KGI
・子育て世代人口

人口ビジョン

特に若い子育て世代（20代～40代）・こどもの移住者増加が必要

益城町人口ビジョン
2040年に人口38,000人を目指す

益城町でも社会増の兆し

周辺自治体における企業立地

政策目標1：結婚・出産・子育ての希望をかなえる

こどもまんなか
元気と笑顔と夢があふれるまちづくり

KGI（子育て世代のKGI）
・「子育ての幸せ」満足度
・「こどもの幸せ」満足度

政策目標2：魅力的な地域をつくる

帰ってくると「ホッ」とする
穏やかで温かいまちづくり

KGI（子育て世代のKGI）
・「こどもの安全」満足度
・「子育ての孤独感がない」満足度

政策目標3：地方に仕事をつくる

「しごと」と「くらし」がいつも近くに、
業と活気を感じるまちづくり

KGI（子育て世代のKGI）
・「働く場がある」「活気がある」満足度
・「自分で何かできる」満足度

政策目標4：人の流れをつくる

「くらし」を伝える情報発信
魅力が伝わるまちづくり

KGI（子育て世代のKGI）
・「自分が益城をPRしたい」満足度
・「魅力が確実に伝わっている」満足度

総合戦略における重要施策

（1）こども・子育て施策

こども・子育て分野

こども・子育て施策の展開

・こどもの人数にあわせた小中学校整備
・乳幼児の数にあわせた教育・保育施設の整備
・安全で充実した放課後生活の実現に向けた体制の確立
・こどもが過ごしやすい施設・街並みの整備促進
・大学や海外の学校等と連携した特色ある教育の推進及び教育環境の充実
・地域と密接につながる教育の推進　・こどもの遊び場の充実　など

町内の全公共施設における「こども・子育て世代向け取組」の推進

・はぴねす⇒妊娠・出産・産後・乳幼児期における母子保健サービスの提供、食育の拠点
・地域共生センター⇒子育て中の人も集まれるような学びやサービスの提供
・ミナテラス⇒こどもがいつでも「学べる」場所に
・総合運動公園等⇒こどもが運動・スポーツに触れられる場所に
・文化会館⇒こどもが文化・芸術に触れられる場所に
・各地区の避難地⇒こどもが普段から楽しく遊べる場所に　など

（2）こども・子育て環境向上施策

健康づくり分野

・気軽に身体を動かせるプログラム　・緑化の推進、環境負荷の低減
・「歩きたくなる」移動空間づくり　・「地域の恵みと健康ごはん」の推進　など

安全・安心分野

・自主防災組織のさらなる普及　・ICTを活用した情報提供の仕組み
・防減災意識・行動の強化　・避難地の普段からの活用
・災害に強い公共インフラの整備　・「震災の記憶」の後世への継承　など

住環境／公共交通分野

・暮らしやすい住宅エリアの創出　・復興推進エリアの市街化区域編入に向けて検討
・生活利便施設の誘導　・歩きや自転車で移動しやすいまちづくりの推進
・土地の高度利用の促進　・道路ネットワークの整備
・空き家・空地利活用の促進　・パーク＆ライドとの公共交通利用の促進
・ICTを利活用した公共交通網の整備（町内、空港方面等）　など

仕事／経済分野

・産業団地の整備と企業の誘致　・農の活性化に向けた取組の推進
・町内事業者のさらなる活性化支援　・起業・創業相談支援体制の充実
・大学等とも連携した新事業創出　など

タウンプロモーション分野

・「町民一人ひとりによるプロモーション」意識づくり　・戦略的なタウンマーケティングの推進
・移住定住相談会への参加　・ふるさと納税の推進
・開発特産品の販路開拓を通じた町PRの推進　など

★ 施策実施に向けた庁内体制構築等

・職員一人ひとりの「マーケティング」意識醸成と取組推進
・職員一人ひとりの「行政業務DX」意識醸成と取組推進
・外部人材交流も活用した人材育成
・職員体制の整備　・広域連携の推進　など